

平成13年10月25日

各 位

会社名 小田急不動産株式会社
代表者名 取締役社長 遠山 一徳
(コード番号 8832 東証・大証第1部)
問合せ先 経理部長 市川 文男
(TEL 03-3370-1110)
当社の親会社 小田急電鉄株式会社
代表者名 取締役社長 北中 誠
(コード番号 9007 東証第1部)

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成13年5月21日の決算発表時に公表した平成14年3月期中間期(平成13年4月1日～平成13年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成14年3月期中間業績予想数値の修正(平成13年4月1日～平成13年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成13年5月21日発表)	15,100	500	180
今回修正予想(B)	13,640	610	280
増減額(B-A)	1,460	110	100
増減率(%)	9.7	22.0	55.6
前期(平成13年3月期中間期)実績	13,124	835	245

2. 平成14年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成13年4月1日～平成13年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成13年5月21日発表)	17,000	500	180
今回修正予想(B)	15,400	550	240
増減額(B-A)	1,600	50	60
増減率(%)	9.4	10.0	33.3
前期(平成13年3月期中間期)実績	14,647	816	176

3．修正の理由

不動産販売業における上期計上見込分の下期へのずれ込み等により、売上高は前回予想を下回る見込みとなりましたが、マンションの販売時期が下期へ繰下がったことにより広告宣伝費等の営業費用が減少したためと、全事業あげて資産効率の向上とコスト削減に努めたこと等により、経常利益、中間純利益については好転する見込みであります。

一方、中間期における連結業績修正は、連結財務諸表提出会社（当社）の平成14年3月期の中間業績予想の修正に伴うものであります。

4．通期業績予想

通期につきましては、不動産販売業の年間計上戸数および広告宣伝費等の営業費用の発生見込みについては当初計画内であり、前回発表予想（平成13年5月21日発表）に変動はないものと見込んでおります。

以 上